

# 再加熱カート「温鮮自在」

～軽量・コンパクト・省エネ～

亀田 英之 (かめだ ひでゆき) 昭和飛行機工業株式会社 輸送・機器事業部 営業部 営業3課

要約 航空機の機内食サービスで培った技術を病院・施設などの給食サービスに活用。40年以上にわたる航空機の機内食カート製造ノウハウを活かした、保冷と加熱設備が一体化した独自の構造。超コンパクト設計にもかかわらず、前後両面開きカートに20食をらくらく収納できます。

## 1. はじめに

昭和飛行機工業は、1937年に最新型の航空機を製造しようという壮大なロマンの基に設立されました。当時としては大型のダグラス DC-3 型輸送機など、800機あまりを製造し、また戦後は米軍の航空機修理、そして初の国産旅客機として知られた YS-11 の開発にも参加するなど、“飛行機”と半世紀以上も関わりをもってきました。



現在は、航空機の製造で培ってきた高度な技術力をもとに多彩な側面をもっています。たとえば、アルミの溶接技術を活用したアルミタンクローリーや国内トップシェアをもつ航空機燃料給油車、航空機機体部品及び機内装備品、各種ハニカム製品など 輸送用機器分野での製造事業の他、昭島市を中心に所有する広大な敷地の再開発を中心とした 地域開発事業の展開などです。

こうしたものすべては、新しいものに挑戦する創立当時のチャレンジ精神によるものです。

## 2. 再加熱カート「温鮮自在」

保冷と加熱を一体化した軽量コンパクト設計。業界最小クラスの省エネ・省スペースを実現しました！



超コンパクト設計にもかかわらず、前後両面開きカートに20食をらくらく収納できます。